

深層学習における日本語方言音声認識に関する研究

高度情報教育センター
情報コース
(外部メンタ)

ナハル ラウフン
太田健吾
静岡大学大学院 甲斐充彦

① 自動音声認識 (Automatic Speech Recognition, ASR)

- 自動音声認識 (ASR) は音声を機械的に認識させ、AI の幅広い分野の一つである。
- 音声信号を入力し、認識を行い、文字として出力することが目的である。



図 1：自動音声認識のユースケース

② 日本語方言音声の音声認識

- 地域ごとの発音の特性や単語の使い方によって音声の特徴とともに認識精度も変化する。
- 標準語で学習された音声認識器は日本全地域では活用するにはいけない。
- 地域の特性を考慮した汎用性の高い音声認識器の開発は少子高齢化の社会をより豊かにすることに貢献できると考えられる。

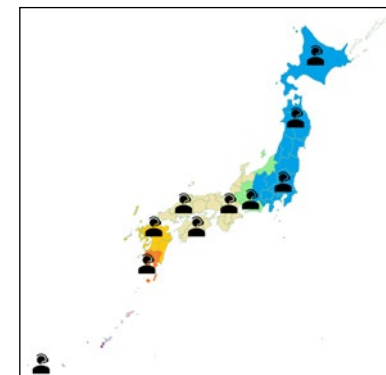


図 2：日本語方言音声の分布

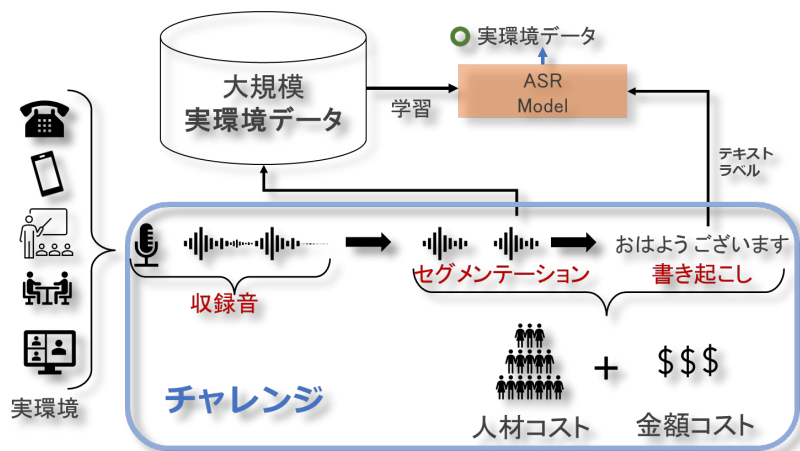


図 3：自動音声認識の流れとチャレンジ

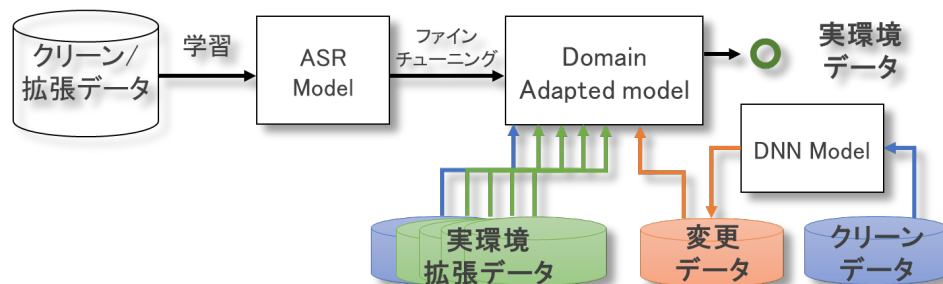


図 4：データ拡張とドメイン適応における提案手法